

令和7年度 第1回北区総合教育会議 次第

令和7年7月7日（月）午前10時30分
北区役所滝野川分庁舎2階 教育委員会室

1 開 会

（1）やまだ区長 挨拶

2 報告事項・議題

（1）新学習指導要領の動向について

3 その他

4 閉 会

【資料】

・令和7年度第1回北区総合教育会議 説明資料

北区総合教育会議構成員名簿

北区長	山 田 加奈子
-----	---------

北区教育委員会教育長	福 田 晴 一
------------	---------

北区教育委員会委員	本 間 正 江
-----------	---------

北区教育委員会委員	名 島 啓 太
-----------	---------

北区教育委員会委員	長谷川 勝 久
-----------	---------

北区教育委員会委員	宮 川 淳 子
-----------	---------

北区教育委員会委員	川 染 誉
-----------	-------

結果、カリキュラムオーバーロードとなり教員の負担増に

学習指導要領とご対面

R6年 教科書予算 471億円

学校種別 学習指導要領

学習指導要領各教科解説

各教科の教科書

種 類	ページ数 (6年国語)	価 格
幼稚園・小学校 中学校・高等学校 特別支援学校	350頁 18頁	201円
学校種別 各教科・領域ごと 約60種類	249頁	162円
検定合格 発行会社 約30社	300頁	734円

幼稚園:15767 小学校:19161 中学校:9882 高等学校:2929 大学:801 基礎自治体:1718 計:50259

教育課程部会の進捗から見えてきた「Keyword」

次期学習指導要領の動向

- 多様性を包摂した教育の実現
 - 公教育の守備範囲拡大 不登校 外国籍児童生徒
- 情報活用能力の抜本的な向上
 - 技術家庭科の分割 「情報教育」の総合学習への導入
- 質の高い探究的な学びの実現
 - 「情報収集、整理・分析、まとめ・表現」ICT活用
- 柔軟な教育課程編成
 - 学校の主体性、校長のリーダーシップと裁量権

検討においてどのような前提があるか

子供たちを取り巻くこれからの社会

少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成AI等デジタル技術の発展等、社会や経済の先行きに対する不確実性がこれまでになく高まっており、子供たちは激しい変化が止まることのない時代を生きることになる。

少子化・高齢化



デジタル技術の発展等



マルチステージの人生

これまで



これから



グローバル化



テクノロジーの変化によるチャンス



子供たちにとって重要なこと

自らの人生を舵取りする力を身につけること



持続可能な社会の創り手となること



豊かな可能性を開花できること



検討においてどのような前提があるか

子供たちを取り巻くこれからの社会

少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成AI等デジタル技術の発展等、社会や経済の先行きに対する不確実性がこれまでになく高まっており、子供たちは激しい変化が止まることのない時代を生きることになる。

少子化・高齢化

マルチステージの人生

グローバル化

今の一年生の寿命は104歳、企業の平均寿命は18年 自己選択へ

デジタル技術の発展等



これから



テクノロジーの変化によるチャンス



子供たちにとって重要なこと

自らの人生を舵取りする力を身につけること



持続可能な社会の創り手となること



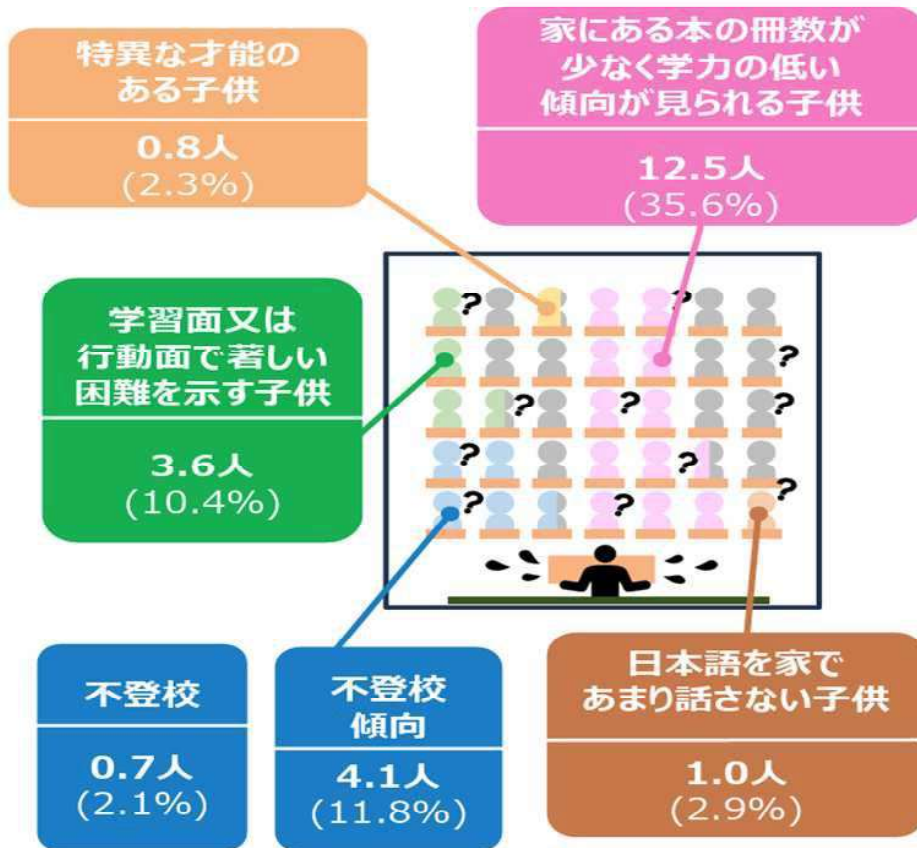
豊かな可能性を開花できること



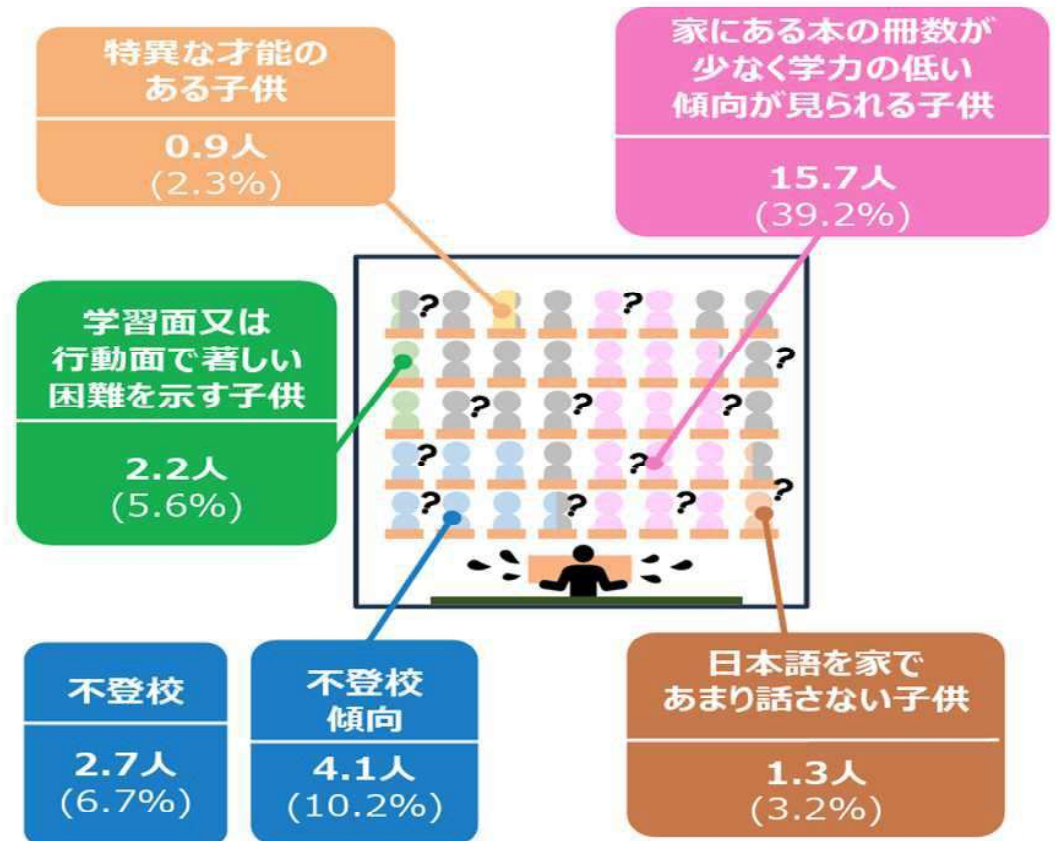
学校における児童生徒の多様性を包摂する必要性

○どの学校においても、多様な個性や特性を有する子供が在籍している実態が顕在化している。
こうした多様性を包摂し、一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題。

小学校（35人学級）



中学校（40人学級）



※各数字の出典は諮問参考資料P45,46参照
https://www.mext.go.jp/content/20242127-mxt_kyoiku01-000039494_03.pdf

情報活用能力にはさまざまな課題が…

(出所) 文科省

情報技術の

1

活用

- 基本的な操作
- 情報の収集、整理・比較、発信・伝達などに関すること

- 小学校で教科等に明確に位置づけがなく、**地域や学校による差**が大きい
- **探究の学習**の過程で活用が十分ではない



2

適切な 取り扱い

- 扱う際の留意事項に関する
こと（情報モラル、権利と
責任など）

- メディアリテラシーについて学校の
取り組み差が大きい
- 急激なスピードで広がる**負の側面**への
対応が不十分



3

特性の 理解

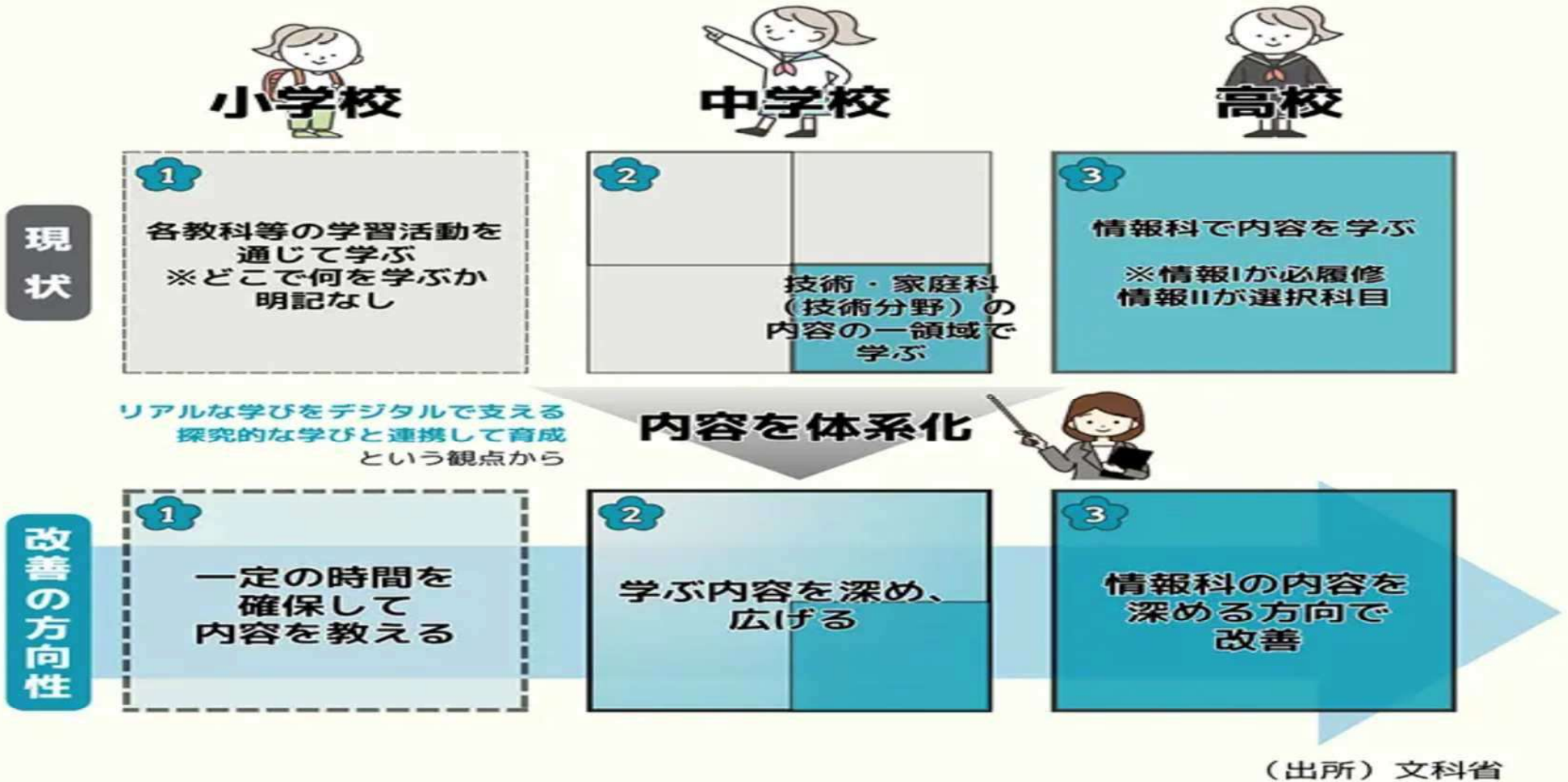
- 科学的な理解に関すること
（コンピューターの仕組み、
データ活用など）

- 小学校では扱われていない
- 中学校では**技術分野の一部**での取り扱い
- 学校種を通じ、**生成AIなどの先端技術**に
関わる内容が明確に位置付いていない



【図1】 情報活用能力の抜本的な向上に関する課題

情報活用能力の抜本的向上を目指す



【図2】 教育課程における情報活用能力の改善に向けたイメージ

探究・情報の双方の観点から大幅な改善

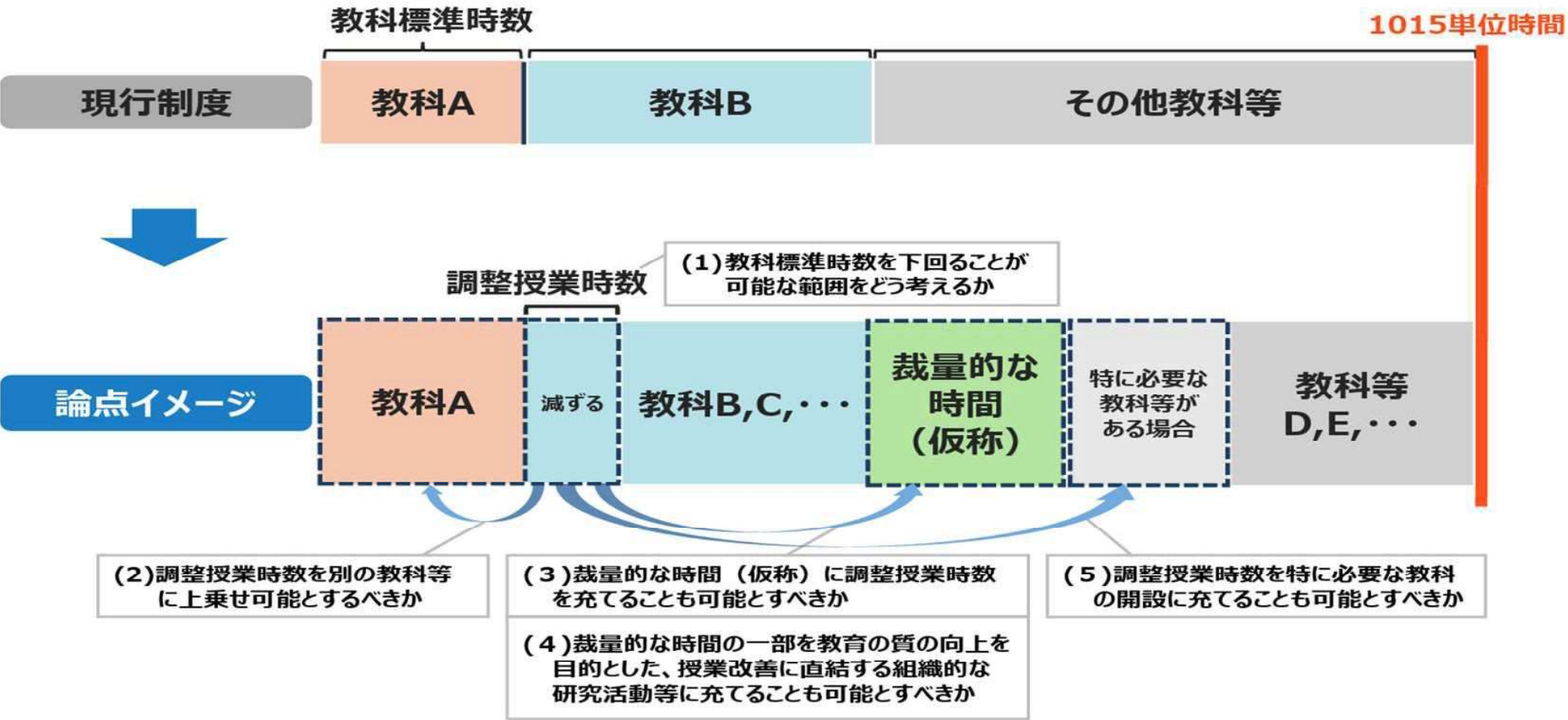
—質の高い探究的な学びの実現に向けた新たな枠組み—



(出所) 文科省

柔軟な教育課程の論点イメージ

多様な個性や特性、背景を有する子供たちを包摂する柔軟な教育課程編成を促進するため、児童生徒や地域の実態を踏まえて、必要に応じて以下のような取組の一部又は全部の実施を可能とするか否か。



生成AIを『活用から協働へ』

生成AIが、児童の学習を支えるパートナーとなりうる。

(元文科省戦略アドバイザー寺西隆行氏のFB投稿より)

ややこしいことに、大人にとって「難しい」と思える「情報の技術」の知見であっても、10年後20年後を生きる子供達の未来を考えると、義務教育段階で、今の大人ができない領域を身につけておく必要性がどんどん高まっているんですよね。

つまり、**大人が学び、知見を得て、子どもに伝える、という、伝達の指導だけでは、考え方として、時代的にもズレてしまっているといえます。**

生涯にわたって主体的・能動的に学び続ける力 未知の山を登る力

学校

教師が知っている
山で「登る練習」

- ・選択肢
- ・ゴールを見て
- ・見通しをもって
- ・個で
- ・苦手克服

効率よく登らせる為の方法を教える

根本的な考えの違い
両方大切

子どもの将来

社会：未知の山

- ・計画、見通しが立たない
- ・自分の得意技で
- ・互いに強みを出し合って
- ・協働で 依存も
- ・創意工夫

知らない山はどのように登るのか？

北区では「誰一人取り残さない」教育を

「誰一人取り残さない…」
では、逆説に考えて
「取り残される児童生徒」とは…
どんな児童生徒なのでしょうか
皆さん、どうお考えですか



最近、教育界隈で聞かれるキーワード

個別最適な学び

協働的な学び

テクノロジー
GIGAスクール

知識・技能
指導の個別化
学習の個性化

まず自分で考え
そして振り返り

探究的な学習
体験活動

多様な他者と
意見交換・共有
生まれる価値

